

令和6年度水稻害虫トラップ情報（7月下旬）

1 アカヒゲホソミドリカスミカメ

(1) 予察灯

第1世代から第2世代への移行期間とみられる7月下旬の誘殺数は、青森、八戸が平年並、木造が少なく推移している。

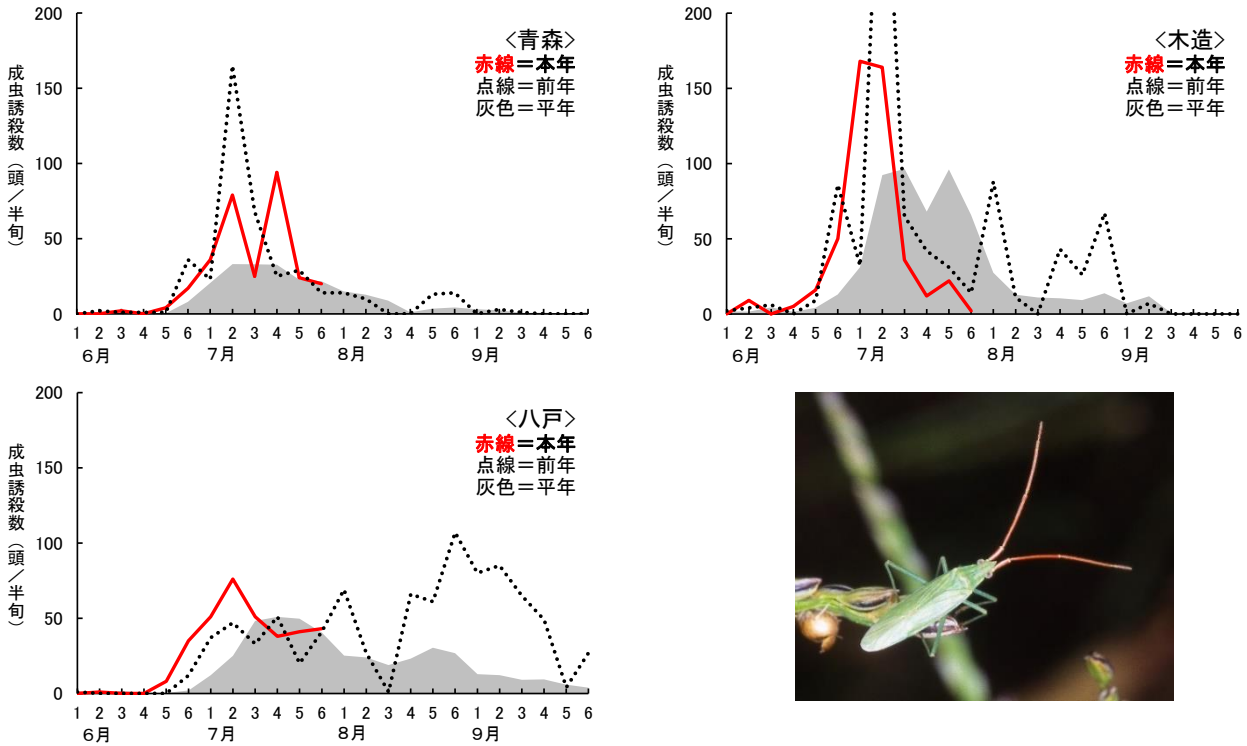


図1 予察灯によるアカヒゲホソミドリカスミカメの半月別誘殺数

(2) 性フェロモントラップ【畦畔】

7月下旬の誘殺数は青森、鶴田、七戸が平年より多く、木造、十和田が平年並、八戸が平年よりやや少なく推移している。

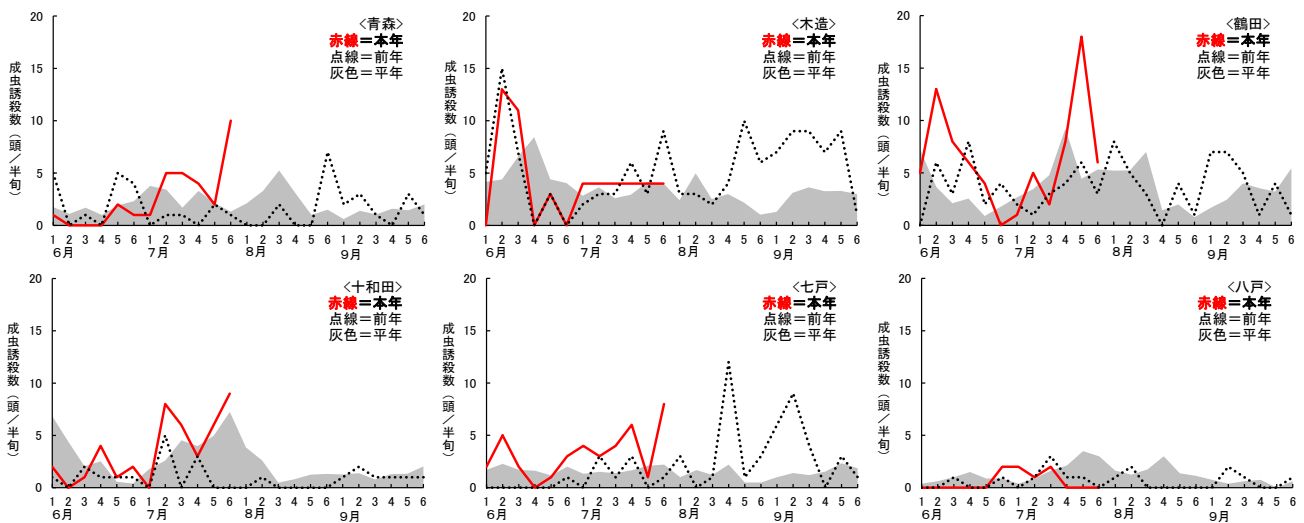


図2 性フェロモントラップによるアカヒゲホソミドリカスミカメの半月別誘殺数

注) 平年値は、青森・十和田・七戸・木造が過去10か年、鶴田が過去9か年、八戸が過去8か年の平均値。

2 アカスジカスミカメ

(1) 予察灯

第1世代成虫の誘殺盛期が平年より早く経過したとみられる7月下旬の誘殺数は、八戸が平年より多く、木造が平年並、青森が平年よりやや少なく推移している。

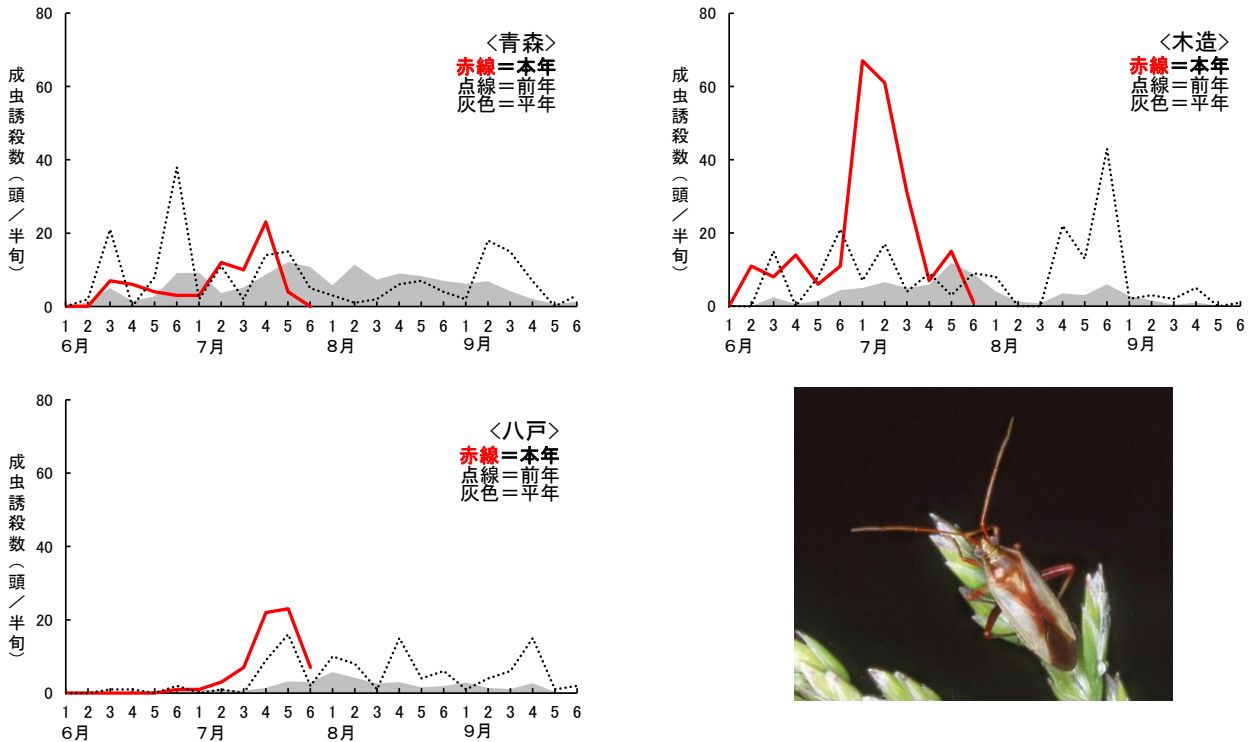


図3 予察灯によるアカスジカスミカメの半旬別誘殺数

(2) 性フェロモントラップ【畦畔】

7月下旬の誘殺数は十和田が平年よりやや多く、その他の地点は平年並に少なく推移している。

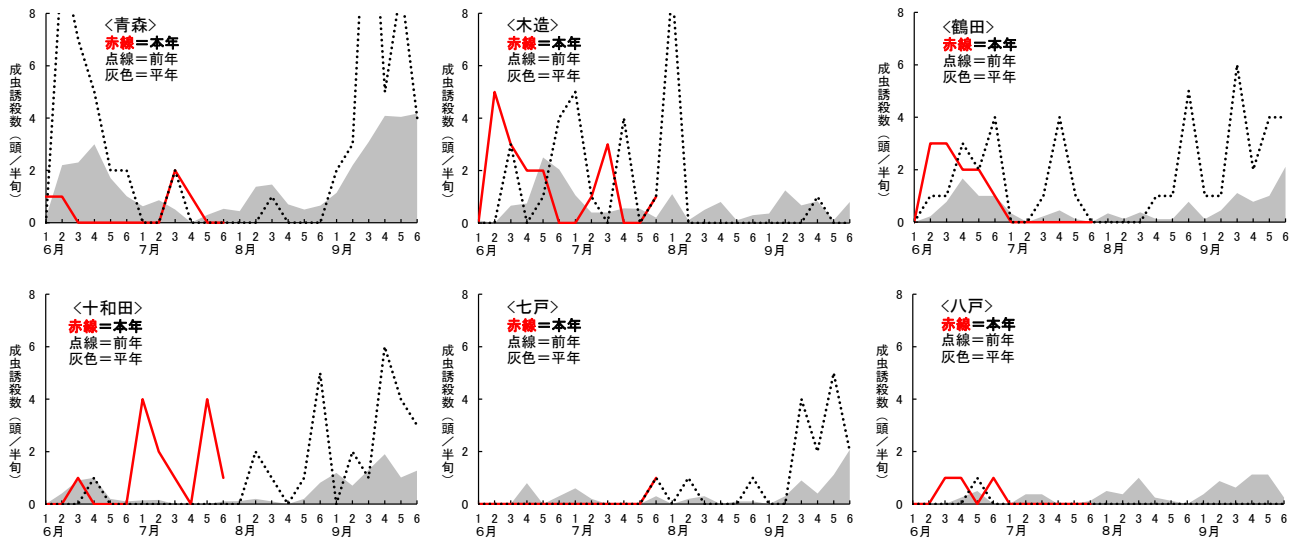


図4 性フェロモントラップによるアカスジカスミカメの半旬別誘殺数

注) 平年値は、青森・十和田・七戸・木造が過去10か年、鶴田が過去9か年、八戸が過去8か年の平均値。

3 フタオビコヤガ

(1) 予察灯

第2世代成虫の誘殺が開始したとみられる7月下旬の誘殺数は、いずれの地点も平年より少なく推移している。

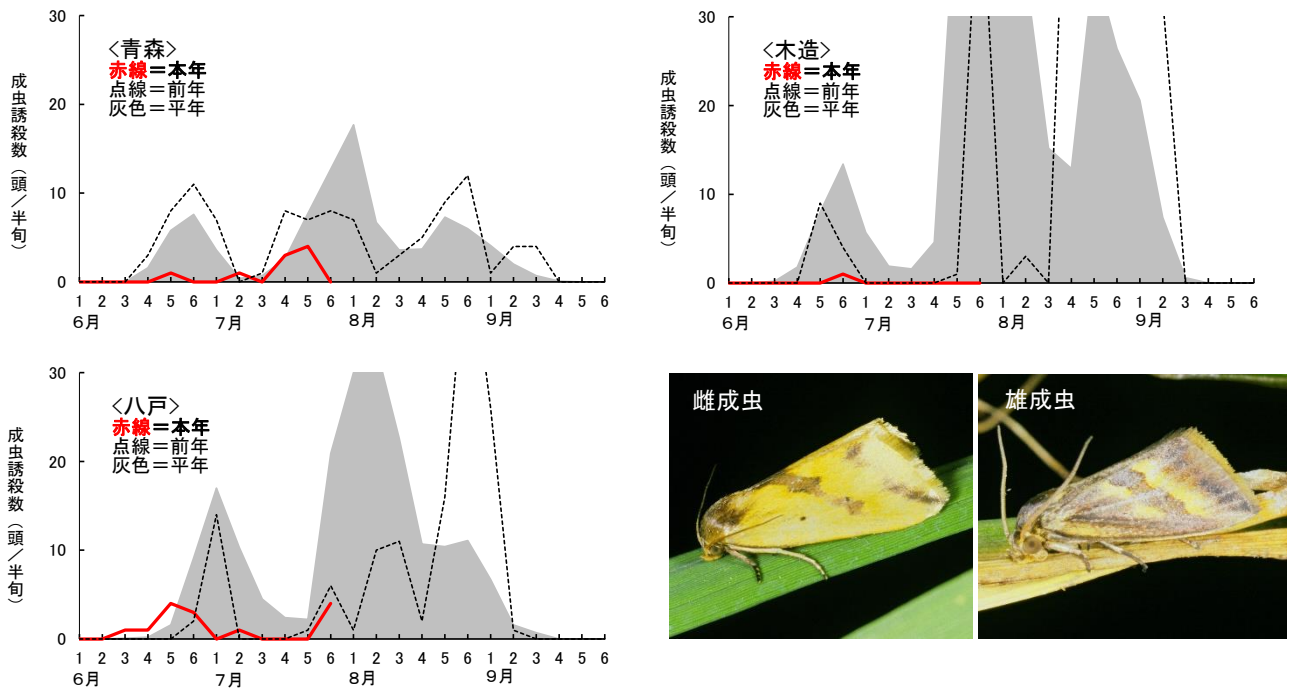


図5 予察灯によるフタオビコヤガの半旬別誘殺数

(2) 性フェロモントラップ【畦畔】

7月下旬の誘殺数はいずれの地点も平年よりやや少ない～少なく推移している。

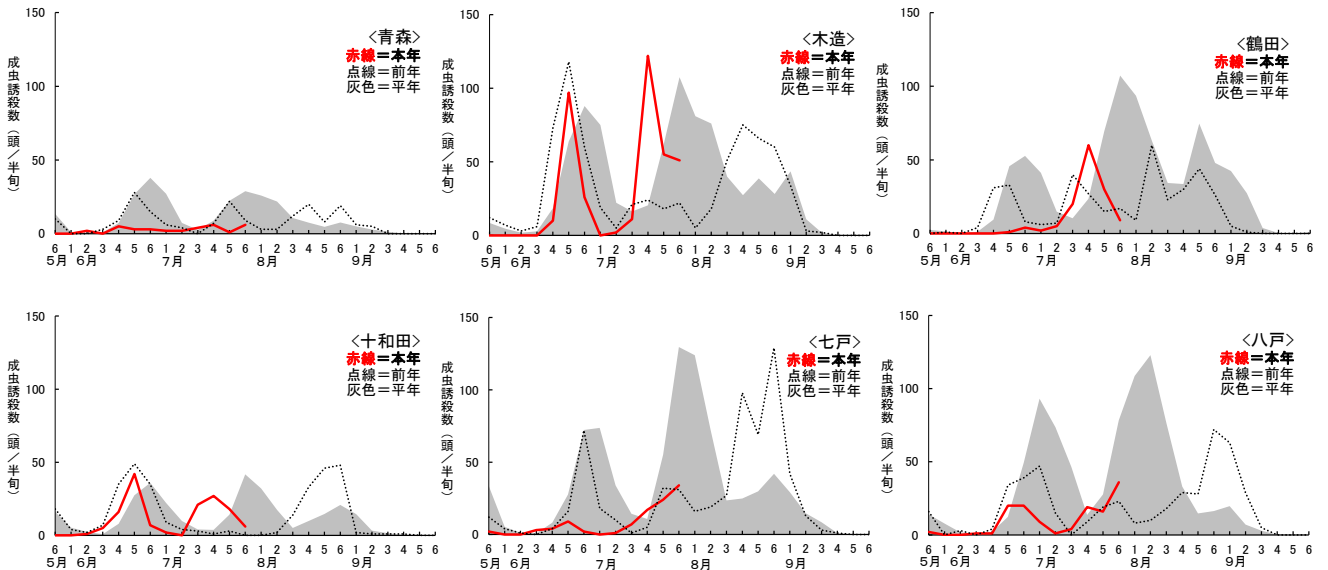


図6 性フェロモントラップによるフタオビコヤガの半旬別誘殺数

【この情報に関する問合せ先】 青森県病害虫防除所 担当：主幹 品川 聖也
 〒030-0113 青森市第二問屋町 4-11-6 TEL:017-729-1717 FAX:017-729-1900